

事務事業名 筑紫野市社会福祉協議会運営補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：153

施策：	17	地域共生社会の推進	財務コード	01030101-05-129
基本事業：	03	地域福祉を支え、推進する人や組織の担い手づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	福祉委員の数 地域での福祉活動に参加している市民の割合 福祉ボランティア数 民生委員・児童委員の充足率		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和39年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
社会福祉法人筑紫野市社会福祉協議会			【補助内容】 社会福祉法人筑紫野市社会福祉協議会に対する補助金交付要綱に基づき、筑紫野市社会福祉協議会が地域福祉サービスを総合的かつ円滑に提供できるように、会長以下総務担当、地域福祉担当及び暮らしのサポートセンター担当職員の人件費を補助し、財政的に支援する。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【申請書類】 申請書提出 申請内容確認 補助金交付 実績報告							
筑紫野市社会福祉協議会が地域福祉活動推進の中核を担い、行政との連携と役割分担を明確にしながら、福祉サービスや各種事業を円滑に行うことができる。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標	
社会福祉協議会の総支出に占める運営補助金比率		%	37	40.7	35.6	40			35.6	
福祉委員数		人	197	201	200	200			200	
5. コスト										
事業費		計	千円	96,375	103,616	105,244	114,215			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	96,375	103,616	105,244	114,215					
正職員人工数		人工	0.2	0.17	0.27					
正職員人件費		千円	1,563	1,364	2,263					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	97,938	104,980	107,507	114,215				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		指標A<状況>総支出に占める運営補助金比率は、増加している。 <原因>社会福祉協議会の収支が改善していないため。 指標B<状況>福祉委員数は、増加している。 <原因>行政区において福祉の担い手の確保に尽力いただいている。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	地域福祉の推進のため、コミュニティ運営協議会に働きかけを行い、連携した取り組みを行っている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
社会福祉協議会に対し計画的に事業等を行うよう求めるとともに、受託する事業等に応じて補助が行えるよう、市と社協が相互に確認できる仕組みを構築していく。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
社会福祉協議会設立当初の昭和39年から補助を開始した。地域福祉の推進のため、福祉活動の担い手として、ボランティアの育成や支援を行い、様々な福祉課題に対応すべく、各種取り組みを展開している。令和7年3月に市と第三次地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定。取り組みを進めていく。										